

ワークシートの解答と解説例

1. ごみのリサイクル①

**ワーク
シート**

ごみのリサイクル ①

年 組 番 名前

●家から出るごみの種類と量

◇家から出るごみを燃やすごみと資源ごみに分類して、ごみの出た日に○をつけてみましょう。

ごみの種類		月	火	水	木	金	土	日
燃やすごみ 資源ごみ	生ごみなど							
	PETボトル							
	段ボール							
	プラスチック 金属							
	新聞・雑誌 牛乳パックなど							
	ビン・カン							
	その他(具体的に記入してください)							

●家から出るごみの量をPETボトル、プラスチック、金属(空き缶)に限定して1週間単位でまとめてみましょう。

PETボトル	本
プラスチック	個
金属(空き缶)	個

※このほか燃やせないごみ、大型ごみ、危険ごみなど、どんなものがあるか考えてみましょう。

●ごみのゆくえ

◇PETボトルのリサイクルを考えてみましょう。

家庭・学校

↓

リサイクルセンター

→

どんなものになるか調べてみましょう

●PETボトルを出すときの決まり

◇どんな決まり、手順があるか考えてみましょう。

飲料用PETボトル、ユニフォーム、カーペットなどの繊維製品、洗剤用ボトルなどのボトル製品、紙バック、箱の仕切りなどのシート製品、その他文具類、バンドなど

- ① 識別マークを見て材質を確認
- ② キャップをはずしてラベルをはがす
- ③ 軽くすすいで水を切っておく
- ④ PETボトルを横にしてつぶす
- ⑤ 市町村のPETボトルの回収日に出す

●参考WEBサイト

まち美化キッズ「リサイクルしたら何に変身するの？」
https://www.kankyobika.or.jp/kids/stop_2.html

環境省「容器包装リサイクル関連」
<https://www.env.go.jp/recycle/yoki/index.html>

2. ごみのリサイクル②

ワーク
シート

ごみのリサイクル ②

年 組 番 名前

●3R
◇次のことばと意味を結んでみましょう。

- ごみになるものは買わない
- 衣類は人にゆずる
- ごみを分別する
- 原料にもどして使う
- 何度も使う
- ごみそのものを減らす

● リデュース (Reduce)

● リユース (Reuse)

● リサイクル (Recycle)



ごみの量を減らそう (Reduce)
くり返し使おう (Reuse)
資源として生かそう (Recycle)
英語の頭文字をとって「3R」といいます

◇自分で考えられるものを具体的に書き出してみましょう。

リデュース	
リユース	●
リサイクル	

◇次のマークの意味を調べてみましょう。

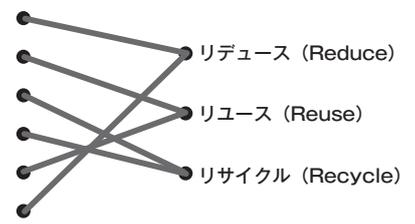






59

ごみになるものは買わない
衣類は人にゆずる
ごみを分別する
原料にもどして使う
何度も使う
ごみそのものを減らす



リデュース

文房具など必要なものをむだなく持ち、ごみを減らす。

リユース

シャンプーなど詰め替え容器を購入し、繰り返し使う。

リサイクル

PETボトルやびん、缶などを再生して使えるように資源ごみとして出す。



消費者の分別排出を促進することを目的に、プラスチック製の容器包装に表示が義務づけられた識別表示です。



「グリーンマーク」と呼ばれ、公益財団法人古紙再生促進センターが認定した再生紙に表示されています。



消費者の分別排出を促進することを目的に、PET材質の容器包装に表示が義務づけられた識別表示です。



商品選択を通じ環境にやさしいライフスタイルの普及を図る目的で、公益財団法人日本環境協会が事務局となって運営する「エコマーク」。厳しい審査基準をクリアした商品が認定を受けて表示します。



PETボトル協議会が定めたマークです。再利用品の認知を広め、購入を促進することが目的です。



飲料容器の散乱防止、リサイクルの促進を目的に採用。使用することが法律で義務づけられたマークではありませんが、テレビ・新聞・雑誌広告・啓発用パンフレットなどに使用され、散乱防止を象徴するマークとして広く浸透しています。

●参考WEBサイト

まち美化キッズ「3Rってなあに？」

https://www.kankyobika.or.jp/kids/learn_s4syakai_5.html

まち美化キッズ「リサイクルに役立つ、いろんなマーク」

https://www.kankyobika.or.jp/kids/learn_s4syakai_4.html

3. ごみのリサイクル③

ワーク
シート

ごみのリサイクル ③

年 組 番 名前

●ごみの量

◇ごみの量を減らすために自分たちでやっていることを選び、下の四角に○をつけてみましょう。

1. 買物にはマイバッグを持っていく。	2. 使い捨ての品物はなるべく買わない。	3. むだなゴミ紙は断っている。	4. リサイクルショップを利用する。
			

◇そのほかに家でやっていることを書き出してみましょう。

◇まちの中でどんな場所にゴミがポイ捨てされているか調べてみましょう。

①	②	③	④
⑤	⑥	⑦	

◇ポイ捨てされていたゴミにはどんなものがあつたか書き出してみましょう。

◇なぜポイ捨てされたのか調べてみましょう。



一般廃棄物と呼ばれるごみは日本全体1年で約3,897万トン（東京ドーム約105杯分）にもなるよ、つまり1人1日約851gのごみを出している計算になるんだよ。
※1,000kgを1トン（t）というよ。

修理して使えるものは修理する。
人にゆずる。
掃除用具として再利用する。
衣類などはアイデアを生かしてリフォームする。
生ごみなど肥料にする。

- ①公園 ②公共施設 ③河川 ④海岸
⑤林の中（大型ごみ） ⑥道路上 ⑦空き地

PETボトル びん 缶 容器 イス 机 トレー
たばこ カセット CD TV 家電

持っているのが重い、格好が悪い、要らないなどが考えられますが、リサイクル法で捨てられないもの、例えば、TVなどはめんどろ、廃棄方法が不明などで投棄したと考えられる。

①河川敷付近	缶、びん、PETボトル、ルアー、釣り針、たばこの吸い殻、ガスボンベ、食品トレー、使い捨てライター、花火など
②川の中付近	缶、びん、PETボトル、ビニール袋、食品トレー、紙バック、発泡スチロール、木材、ロープなど
③橋付近	段ボール、大型家電製品、缶、びん、PETボトル、雑誌、タイヤ、自転車など

4. まちと川を守る

ワーク
シート

まちと川を守る

年 組 番 名前

●川はみんなの共有財産

◇川のどんなところにどんなものが捨てられているかを調べてみましょう。

場所	ごみの種類
①	
②	
③	

◇川の水のよごれがどうしておこるのか調べてみましょう。

◇川にポイ捨てなどでゴミが捨てられた場合、どのような影響があるか書き出してみましょう。
(記入例) 食品トレーなどを捨てて魚が食べてしまうなどの被害がある。

◇きれいな川を守るため、人々はどうのよう努力をしているか調べてみましょう。
(記入例) バーベキューをしないように看板を立てる。

◇川がきれいになったら、どんなことがしてみたいか書き出してみましょう。

以前は工場や畜産などからの産業排水、それに家庭の台所や風呂などからの生活排水などが主なものでしたが、浄化設備の発達により、かなり改善されてきました。川の中には、びんや缶、CD、食品容器などが捨てられ汚れの原因となっています。また、レジャーが盛んになることにより、山中や海岸の川の近辺でのごみも増えてきました。

ごみは、分解されると有害な物質に変わるものもあります。これにより川が汚れ、水の中に住んでいる生き物たちが困ります。いい水の中には、魚にとっての多くの食べ物があります。水が汚れると、アオコのように一種類のプランクトンが大量に発生します。もっと汚れると酸素がなくなり、生き物は死んでしまいます。私たちの飲み水などの生活用水にも影響を与え、自然破壊につながります。

地域によっては、河川敷の清掃や、美化を呼びかけるキャンペーン活動（例えば、環境マップを作る）をしています。また、条例を作り保護しているところもあります。京都市では、自転車などの放置、打ち上げ花火、バーベキューの禁止などを決めています。さらに、全国の学校でも様々な取り組みがされています。さらに環境を良くするために、使い終わったてんぷら油を回収するなどの取り組みもされています。

友達や家族と川の中で思い切り遊んでみたい。楽しくキャンプやバーベキューや魚釣りをしたり、夏には水泳を楽しんでみたい。

●参考WEBサイト

国土交通省「全国の河川ゴミマップについて」
https://www.mlit.go.jp/river/toukei_chousa/kankyo/kankyou/gomimap/

5. ごみの処理と資源リサイクル

ワーク
シート

ごみの処理と資源リサイクル

年 組 番 名前

●リサイクルとごみを出さないくふう。

◇ごみがリサイクルされて何に生まれ変わるか調べてみましょう。

●PETボトル	[]	
●スチール缶	[]	
●発泡スチロール	[]	
●古新聞	[]	

◇家庭や自分でやっているごみを増やさないくふうを選び、番号に○をつけてみましょう。

1. 物を必要以上を買わない。	5. 買い物のときマイバッグを持参する。
2. 使い捨てのものはできるだけ買わない。	6. フリーマーケットに出す。
3. 手入れて最後まで使い切る。	7. 生ごみはできるだけたい肥にする。
4. 食べ物を残さない。	8. その他、自分でやっているくふう。 ()

◇現在、ごみの処理について、地域の人々と協力してやっていること、また今後いっしょにやれるものを考えてみましょう。



市民と行政が協働で行うまち美化活動のことをアダプト・プログラムというよ。
市民や企業が公共の場所をボランティアとして継続的に清掃活動をやっているよ。
アメリカで始まり、日本でも全国の自治体に導入されているよ。

62

●PETボトル

飲料用PETボトル、ユニフォーム、カーペット、洗剤用ボトル、卵パック、結束バンド、文具類

●スチール缶

スチール缶、自動車・家電・鉄道・船舶の材料、ビルや橋梁などの建設資材

●発泡スチロール

CDケース、おもちゃ

●古新聞

新聞紙、週刊誌、印刷用紙（再生紙）

地域と協力しながら、資源ごみ、とくに新聞や衣類などを決められた日に出しておく。生ごみと一緒に出さないようにする。

●参考WEBサイト

まち美化キッズ「リサイクルしたら何に変身するの？」
https://www.kankyobika.or.jp/kids/stop_2.html

6. 江戸時代の知恵「リサイクル社会」

ワーク
シート

江戸時代の知恵「リサイクル社会」

年 組 番 名前

●江戸時代の人々はどんな暮らし方をしていたのだろうか、次の職業はどのようなことをしたのか調べてみましょう。

●灰回収業者	[]	
●紙くず回収業者	[]	
●下肥回収業者	[]	
●焼き接ぎ屋	[]	
●張替え屋	[]	

●上記の職業から考えて江戸の暮らし方について、どのようなことが考えられるだろうか、次の言葉を用いて説明してみましょう。

- リサイクル

●江戸時代、くふうして稲わらからどんなものを作っていたか調べてみましょう。

63

●灰回収業者 かまどなどから出る灰を回収します。灰は肥料になり、また酒造や製紙、染色にも利用されました。

●紙くず回収業者 古紙を買い取り、漉き直して再利用しました。

●下肥回収業者 人の排泄物を回収して農村へ持ち込み、肥料として販売しました。

●焼き接ぎ屋 割れた瀬戸物の修理。白玉粉で接着し加熱して直します。

●張替え屋 提灯の紙や傘の紙の張替えをします。

江戸時代、一番大きなまちだった江戸には、たくさん人々が住み、いろいろな職業の人が住んでいました。例えば、排泄物などもたくさん出たため、これを周辺の農民が買い取り、それを肥料とし、畑で作物を作り、町に住む人々の食料としました。紙くずなども回収し、再利用していました。このように江戸の町は物を大切にしたり、リサイクルが発達したまちといえます。

お米を採取したあとの稲わらは、納豆を包む容器、農作物を干す「むしろ」、米を運ぶ米俵、ぞうりとしての「わらじ」、雨よけのカップとしての「みの」、さらに縄、しめ飾り、として利用されました。使い終われば、最後は肥料として利用され、徹底的にリサイクルされていました。

●参考WEBサイト

まち美化キッズ「江戸時代のリサイクル」
https://www.kankyobika.or.jp/kids/learn_s6syakai_1.html

7. 資源回収とエコ社会

ワーク
シート

しげんかいしゅう
資源回収とエコ社会

年 組 番 名前

●私たちは毎日ごみを発生させています。そのごみにも資源ごみといわれるものもたくさん含まれています。様々な資源ごみを有効に回収する方法について考えてみましょう。具体的に生活の中で何をどう回収しているのか説明してみましょう。

- 資源回収 []
- 分別回収 []
- 拠点回収 []
- 店頭回収 []

●生活の中で水資源について考えてみましょう。

私たちが使う水がとどくまでの流れ

世帯人員数	1ヵ月当たり 平均使用水量	一人一日当たり 使用水量
1人	8.1㎡	270リットル
2人	14.9㎡	248リットル
3人	19.9㎡	221リットル
4人	23.1㎡	193リットル
5人	27.8㎡	185リットル

用途	使い方	使用量
洗面・手洗い	1分間流しっぱなしの場合	約12リットル
歯みがき	30秒間流しっぱなしの場合	約6リットル
食器洗い	5分間流しっぱなしの場合	約60リットル
洗車	流しっぱなしの場合	約90リットル
シャワー	3分間流しっぱなしの場合	約36リットル

資料：東京都水道局「令和2年度生活用水家数調査」
注：「一人一日当たり使用水量」は、「1ヵ月当たり平均使用水量」を「世帯人員数×30日」で割算した値

資料：東京都水道局
注：1分間に約12リットルの水が流れるとの前提による目安

◇上記の流れから私たちの生活と水との関わりをまとめると

集団回収

民間の資源回収業者と住民などの間で行われる回収のことで、町会や自治会などの住民団体が資源を集めて業者がそれを買上げる。

分別回収

市町村が行うごみ収集と処理事業。住民は回収日時、場所、品目、排出方法などのルールに沿い、資源ごみを出す。

拠点回収

住民が回収の拠点まで持ってくる方法。市町村の施設や特設された場所まで持ち寄る形で回収が行われる。

店頭回収

スーパーマーケットやコンビニエンスストアなどが店頭で回収ボックスを置いて行うもの。店によって回収方法や回収する品目が異なる。

私たちは毎日、いろいろな場所で水をたくさん使っています。家庭で一人一日平均で約212リットルも使っています。さらに学校やまちの中でも大量に使っています。しかし水は遠い山の水源林から長い道のりで運ばれてきます。またきれいな水にするための浄水場を経てようやく使えます。使用した水は再利用されますが、さらにきれいに下水処理されたのち河川や海に流されます。このような水は大切に使うことはもとより、使ったあともできるだけきれいに流していくことが大切です。

●参考WEBサイト

まち美化キッズ「まちのしげん回収調査」
https://www.kankyobika.or.jp/kids/learn_sougou_2.html

8. あなたの家と学校のごみ

ワークシート

あなたの家と学校のごみ

年 組 番 名前

● あなたの家と学校のごみはどのくらいあるのでしょうか、調べてみましょう。(1か月間)

種類	家	学校
紙、ちりし (kg)	kg	kg
雑誌 (kg)	kg	kg
衣料 (kg)	kg	kg
金属 (kg)	kg	kg
発泡スチロール (kg)	kg	kg
食品トレー (枚)	枚	枚
PETボトル (本)	本	本
スチール缶 (本)	本	本
アルミ缶 (本)	本	本
生ごみ袋 (袋)	袋	袋
	kg	kg
	kg	kg

◇調べてわかったこと、気がついたこと。

◇それぞれを線で結びましょう。この他に再資源として利用されているものを調べてみましょう。

マーク

● PETボトル ●

● アルミ缶 ●

● スチール缶 ●

● 紙バック ●

● スチール ●

● 紙 ●

● PET ●

● アルミ ●

リサイクル後の製品

● 段ボール紙 ●

● 建設用鉄筋 ●

● フリース衣料 ●

● ノート ●

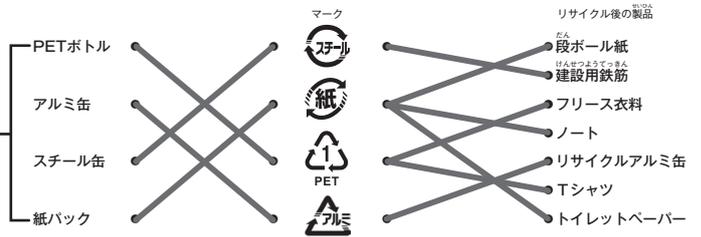
● リサイクルアルミ缶 ●

● Tシャツ ●

● トイレットペーパー ●

65

1か月で合計すると本当に大量のごみが出ていることがわかりました。しかしリサイクルできる資源ごみがたくさんあるので再利用できるように分別して出すことが必要だと思いました。また、生ごみも本当に多いことが改めてわかりました。できるだけ少なくしたいと気づきました。



●参考WEBサイト
 まち美化キッズ「リサイクルのしよ理の流れ」
https://www.kankyobika.or.jp/kids/learn_s4syakai_3.html

9. クリーンアップ大作戦

ワークシート

クリーンアップ大作戦

年 組 番 名前

《クリーンアップ大作戦を進めよう》まち美化活動を行うにあたって

あなたの家の近くの道路や空き地、公園、川、海などいろいろなごみが捨てられていますか。どんなものが捨てられているか調べてみましょう。

● どんどころにどんなものが捨てられているか予想してみましょう。

● どんな準備が必要か書き出してみましょう。

● 落ちているごみの種類と量をまとめてみましょう。

種類	量	捨てたところ	気がついたこと
PETボトル	25本	1丁目公園	汚れていた

◇調べたことで

- ごみの量についてどう感じましたか!
- 資源ごみと燃やすごみでは、どちらが多かったですか。
- ごみの量を減らすためになにをしたらよいでしょうか。

などを話し合ってみましょう。

気をつけよう プルタブ、注射器、ガラスのかけら、釘などが落ちていたら、危険なので、拾わないようにしましょう。

プルタブについてーロメロ
 アルミ缶のプルタブだけを切り取って集めるのはやめましょう!
 アルミ缶のタブが口金とともに切り取れることで環境問題になったことから、現在では、タブが外れない方式になっています。タブだけを切り取ることで、思いがけない事故を防ぐために、缶ごとの回収をお願いします。

66

道路や空き地ではPETボトルやたばこの吸い殻など、川や海などでは浮かぶPETボトルやトレーなど、大型ごみは人目のつきにくい海や川、森などが多そうだ。

分別できる袋を持ち、危険なものもあるので軍手、火ばさみなどの準備が必要である。
 ※基本的には児童には拾わせない。

●参考WEBサイト
 まち美化キッズ「小学生や中学生のまち美化作戦」
https://www.kankyobika.or.jp/kids/bika_2.html